

カジノ解禁やめよ 佐々木議員が追及



佐々木憲昭衆院議員は15日、内閣委員会で安倍内閣が、カジノ解禁推進法案の成立を待たずに内閣官房に大がかりな特命チームを立ち上げカジノを推進していると批判し「とばく場解禁は中止すべきだ」と求めました。カジノ法案は、自民、維新、生活3党の議員立法として現在継続審議中です。政府提出法案ではないのに、菅官房長官は3日の記者

会見で「成立させるべく全力で取り組んでいる」と発言しました。佐々木氏は、これは議会に対する官邸の介入ではないかと追及。これに対し、菅官房長官は閣議決定でカジノについて「関係省庁において検討する」とした趣旨をのべたものだと強弁しました。

佐賀空港で自衛隊機が民間機の2倍に 井上議員が追及

参院外交防衛委



井上哲士参院議員は16日、外交防衛委員会に立ちました。井上氏の質問に対し、防衛省は、陸上自衛隊が導入するオスプレイなどの配備によって佐賀空港の自衛隊機の運用が民間機の2倍に達するとの見通しを示しました。

井上氏は、佐賀空港建設にあたり地元漁協と交わした覚書で、県が自衛隊との共用について「考えを持っていない」と記していたことも示し、同省の認識をただしました。

江渡防衛相は「お答えする立場がない」と答弁を避ける一方、「民間空港としての発展機能を損なわないことを前提に検討を進める」と答えました。井上氏は、地元住民と経緯を無視して乱暴に軍事基地化を進めることはやめるべきだと強調しました。

また、佐々木氏が昨年6月に在コソゴ日本大使館で日本人職員が放火と約2500万円の公金横領事件を起こした問題を取りあげ、外務省の上月官房長は、同職員が「カジノ通いのために公金を横領し、これを隠ぺいするために放火したと認識している」と答えました。佐々木氏は、ギャンブルがらみの事件は外務省、自衛官や警察、地方自治体職員も枚挙にいとまがないとし、「カジノ解禁よりもギャンブル依存症対策をこそ優先すべきではないか」とただしました。これに対し菅官房長官は、「カジノばかりいうが複合リゾートでカジノはわずか数%だ」と居直りました。佐々木氏は「その中核にあるのがカジノだ。バクチで経済が成長するはずはない」と批判しました。

軍民共用空港の航空機着陸回数（2013年）

空港名	年間着陸回数	
	民間機	自衛隊機
佐賀空港	4097回	約8500回
那覇空港	6万3345回	1万304回
秋田空港	8464回	911回
小松空港	8890回	8000回程度か

※1 政府管弁から作成
※2 佐賀空港民間機は13年度、自衛隊機は見積りの回数
※3 小松空港の自衛隊機は未集計。管制回数1万6794回からの推定

第41回赤旗まつり（11月1～3日・東京都江東区・夢の島公園）での県のつどい
佐々木憲昭、井上さとし両議員もごあいさつします。ぜひご参加ください。

- 静岡 2日 11時～11時15分、県テント前
- 岐阜 2日 12時～12時30分、ブロックテント前
- 愛知 2日 12時30分～13時、県テント前
- 三重 2日 16時、三重県の物産店前

